



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2021年8月28日 No.351

## 施策の目的に沿ったものになっているのか！？ 今日段階の成果と課題を明確にしていく！

### 「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーション」実施後の検証に関する申し入れ

東日本ユニオンは、2020年4月1日より実施された「変革2027を踏まえた新たなジョブローテーション」について、施策の目的である「社員が多様な経験を積むことにより安全・サービスレベルを向上させる」とした視点到留まらず「変革2027」でめざす「社員・家族の幸福の実現」や「キャリアステップ」など、様々な視点から5月1日より1ヶ月間、対象の全組合員で検証の取り組みを進めてきました。

検証した中で、安全に直結する課題や社員・家族の生活設計への影響など、将来に対する不安の声が組合員のみならず現場第一線で働く社員からも多く寄せられています。現場実態を抜きに異動だけが目的化されるなど、施策の目的から逸脱させないために労使で今日段階における成果と課題を明確にし、積極的に検討していくことが求められていることから、8月24日に申第8号「『変革2027を踏まえた新たなジョブローテーション』実施後の検証に関する申し入れ」を経営側に提出しました。



#### 【申し入れ項目】

1. 「新たなジョブローテーション」の実施によって、全社員がキャリア形成を描くとした目的における成果と課題を明らかにすること。
2. 「新たなジョブローテーション」実施後、「同一担務の従事期間が最長でも概ね10年を超えないように異動又は担務変更を行う」とした成果と課題を明らかにすること。
3. 「新たなジョブローテーション」実施後、人事異動において社員の仕事と生活の両立に対する成果と課題を明らかにすること。
4. 「新たなジョブローテーション」実施後、安全レベルを向上するとして目的において、運転士の人事異動による成果と課題を明らかにすること。
5. 「新たなジョブローテーション」実施後、車掌試験、運転士試験、新幹線運転士試験を廃止し、任用の基準で異動又は担務変更を柔軟にできるとした成果と課題を明らかにすること。
6. 「新たなジョブローテーション」実施後、運転士及び車掌の職名を「乗務係」「乗務指導係」「乗務主任」「乗務主務」に統一したことによる成果と課題を明らかにすること。